

はじめに

後藤 明

本論集は2013年から3年間継続してきた、人類学研究所の共同研究「危機と再生の人類学：記憶、土地、コミュニティ」の報告書である。

人類は災害や環境破壊あるいは戦争や疾病など様々な危機に今日直面している。このたび2013年度から2015年度にかけて行われた共同研究ではそもそも危機とは何か、それはどのようにして認識されるのか、また人類は過去どのように危機を回避してきたのか、さらに未来においてどのように回避しようとしているのかなど根本的な問いを立てて検討した。さらに、そのような危機を克服するための取り組みを取り上げたり、あるいは動き出すために何が必要かを考えたりしながら、再生に向かうための議論を行ってきた。

現在、人類社会が当面する危機には自然災害の他に戦争やテロ、パンデミック、強制移住や難民化、さらには急速な高齢化、少子化あるいは過疎化などもあげられよう。要するに既存のコミュニティの存続が不可能になる事態が危機と捉えられよう。その原因は仮に発端が自然災害であってもそれが純粋に危機に繋がるというのではなく、多々の社会的要因が複合して危機に至るとというのが実態であろう。

この共同研究の発端はいうまでもなく2011年3月11日、東日本大震災の衝撃である。このような災害に対して、人類学はどのように取り組むべきかを考えるためである。人類学の真骨頂はフィールドワークであるといわれてきた。しかし今日隣接する分野、社会学、地理学あるいは経済学などの研究者も現地社会に入って聞き取りや観察を行うことはまれではない。このような状況で人類学は質の異なるフィールドワークを実施し、独自の研究成果をあげることはできるのであろうか。

本共同研究は2013年からのスタートであったが、2012年よりプレ・シンポジウムを開始していた。それを含めた活動は以下の通りである。

2012.07.27【プレフォーラム1】「自殺の人類学」

講師：杉尾浩規（南山大学人類学研究所非常勤研究員）、川田順造（神奈川大学特別招聘教授）

2012.12.15【プレフォーラム2】「人類学者はなぜそこにいたのか」

講師：中生勝美氏（桜美林大学教授）、角南聡一郎氏（元興寺文化財研究所主任研究員）

2013.03.16【プレフォーラム3】「インドの自然災害とその語りに関する講演」

講師：フランク・コロム（ボストン大学）

2013.04.01【第1回研究会】（打ち合わせ、各自の貢献、研究会、講演会などの意見交換）

Research Papers of the Anthropological Institute Vol.3 (2016)

2013.06.22 【関連行事】公開講演会「古代アンデス社会の危機」

講師：鶴見英成（東京大学総合研究博物館）、大平秀一（東海大学）

2013.10.19 【関連行事】映画「フタバから遠く離れて」鑑賞会および福島からのゲストとの討論。

講師：岩崎真幸（みちのく民俗文化研究所）、上條大輔（NPO法人自然環境応援団）

2013.11.16 【関連行事】公開講演会「北朝鮮社会の人類学的考察」

講師：伊藤亜人（東京大学名誉教授）

2014.02.28 【第2回研究会】

- ・吉田竹也「リスク社会と楽園観光：バリ島ウブドの日本人観光ビジネス」
- ・野澤暁子「バリ島トゥガナ。プグリシンガン村の危機と再生：1964年アグン山噴火以降の課程」

2014.06.25 【第3回研究会】

- ・渡部森哉「崩壊と再生：古代アンデス諸社会の事例」
- ・後藤明「人は廃墟がお好き？：ラパヌイにおける危機社会語りの系譜とジャレド・ダイアモンドの嘘」

2015.06.04 【関連行事】公開講演会 "PROTRACTED CAMP LIFE OF SRI LANKAN REFUGEES IN TAMILNADU - INDIA: A CULTURAL PERSPECTIVE" (インドタミル・ナードゥ州におけるスリランカ難民の長引くキャンプ生活：文化的観点から)

講師：K.アロッキアム (Head of the Department, Department of Human Resource Management, St. Joseph's College)

2015.06.24 【第4回研究会】

- ・川浦佐知子「国定史跡と記憶の危機：合衆国先住民ノーザン・シャイアン の史跡化営為と土地保全」
- ・佐々木重洋「奥三河、花祭の継承危機への対応：愛知県協働ロードマップ『三河山間地域の小規模高齢化集落の集落機能の維持・再生に向けた新たな仕組みづくりについて～地域の重要な文化遺産〈花祭〉を支える～』への参画と取りまとめの事例を中心に」
- ・野澤暁子「研究の進展状況の報告」

2015.10.24 【関連行事】公開研究会「台風に対応する社会と文化：沖縄・奄美・台湾の比較研究」

講師：玉城毅（奈良県立大学地域創造学部准教授）、山田浩世（日本学術振興会特別研究員PD）、藤川美代子（南山大学人類学研究所第一種研究所員）、西村一之（日本女子大学人間社会学部准教授）、上水流久彦（県立広島大学地域提携センター准教授）、東賢太朗（名古屋大学大学院文学研究科准教授）

2015.11.25【第5回研究会】

- ・杉尾浩規「自殺研究の難しさ：フィジーの自殺研究の経験から」

2015.12.27【関連行事】「東アジアにおける災害復興と人類学：地域・民俗・記憶」（東アジア人類学研究会第1回合宿研究会（2015.12.26-27）分科会）

講師：宮脇千絵（南山大学人類学研究所研究員）、稲澤努（尚絅学院大学准教授）、内尾太一（麗澤大学講師）、山西弘朗（東京外国語大学大学院）、松岡正子（愛知大学教授）

2016.01.24【関連行事】公開シンポジウム「手しごとと復興」。

講師：金谷美和（国立民族学博物館外来研究員）、石本めぐみ（特定非営利活動法人ウイメンズアイ）、濱田琢司（南山大学人類学研究所第二種研究所員）、加藤幸治（東北学院大学准教授）、サガラヤージ・アントニサーミ（南山大学人類学研究所第二種研究所員）、上羽陽子（国立民族学博物館准教授）

2016.02.19【関連行事】「災害ミュージアム×防災地理学」

講師：阪本真由美（名古屋大学減災連携研究センター主任研究員）、西村雄一郎（奈良女子大学准教授）

2016.03.06【関連行事】亡命チベット人の現実を描いたドキュメンタリー映画『ソナム』の上映会とトークセッション

講師：小川真理利枝監督、山本達也（静岡大学准教授）

【共同研究員】

- ・後藤 明：南山大学人文学部／人類学研究所所長
- ・東 賢太郎：名古屋大学文学部
- ・石原 美奈子：南山大学人文学部／人類学研究所第二種研究所員
- ・クロッカー・ロバート・アラン：南山大学総合政策学部／人類学研究所第二種研究所員
- ・坂井 信三：南山大学人文学部
- ・サガヤラージ・アントニサーミ：南山大学人文学部／人類学研究所第二種研究所員
- ・佐々木 重洋：名古屋大学文学部
- ・菅沼 文乃：南山大学人類学研究所非常勤研究員
- ・杉尾 浩規：南山大学人類学研究所非常勤研究員
- ・野澤 暁子：名古屋大学大学院研究員
- ・濱田 琢司：南山大学人文学部／人類学研究所第二種研究所員
- ・ムンシ・ロジェ・ヴァンジラ：南山大学外国語学部／人類学研究所第二種研究所員
- ・吉田 竹也：南山大学人文学部／人類学研究所第二種研究所員
- ・リースラント・アンドレアス：南山大学外国語学部／人類学研究所第二種研究所員
- ・渡部 森哉：南山大学人文学部／人類学研究所第二種研究所員